

令和4年度 第3回 海老名市総合教育会議 次第

日時：令和5年2月25日（土）午前10時～

場所：えびなこどもセンター 201会議室

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 教育大綱について

(2) 令和5年度教育予算における重点事業等について

(3) 学校施設再整備について

4 児童による発表

中新田小学校学校紹介

5 閉会

令和4年度 第3回

海老名市総合教育会議

令和5年2月25日(土)
えびなこどもセンター 201会議室

協議事項

- 1 教育大綱について
- 2 令和5年度教育予算における重点事業等について
- 3 学校施設再整備について

児童による発表

中新田小学校 学校紹介

教育大綱について

次期海老名市教育大綱について

- ▶ 1 これまでの経過
- ▶ 2 次期海老名市教育大綱（案）
- ▶ 3 今後のスケジュール

1 これまでの経過

- 令和4年7月16日 **第1回総合教育会議**
・見直しの方向性を確認
- 9月20日 **社会教育委員会議**
・社会教育委員から意見聴取
- 10月24日 **えびなっ子しあわせ懇談会**
・えびなっ子しあわせ懇談会委員から意見聴取
- 11月26日 **第2回総合教育会議**
・教育委員から意見聴取
- 12月23日 **教育課題研究会①**
- 1月16日 **教育課題研究会②**
- 1月26日 **教育課題研究会③**
- 2月17日 **学校長から意見聴取**
- 令和5年2月25日 **第3回総合教育会議**
・案提出
- 素案をもとに、教育長と教育委員が協議

<社会教育委員の意見>

- ① 教職員の就業環境の改善が課題
- ② 文化財の更なる活用を！
- ③ 「子どもと大人が一緒に取り組む」ことが重要
- ④ 大きな活力と可能性を持つ高校生・大学生が参画できる場・仕組み作りを求める
- ⑤ 大人と関わる中で、子どもが自信を深め、「好き」を発見し、伸ばしてほしい
- ⑥ 広い世代の交流を図ることが大切



<えびなっ子しあわせ懇談会委員の意見>

- ① 大人も視野を広げられる取組みが必要
- ② 「えびなっ子しあわせプランの推進」を特に重点的に進めること
- ③ 子どもにはたくましく育てほしい
たくましさ＝生きる力の育成を重視
- ④ インクルーシブ教育の推進を求める
- ⑤ 主体的に集まってくれる若者や大人の力を借りることで、学校は良くなる



<教育委員の意見>

- ① 事業の進捗に応じて、文言を修正する
- ② 大綱の中に新たに以下の項目を追加する
 - ・ 「『誰ひとり取り残さない』教育の推進」
 - ・ 「新たな学校の枠組みづくりの推進」
 - ・ 「積極的な学校再編計画の推進」
- ③ 「取組み」（青い部分）を無くし、「基本的な考え方」（ピンク色の部分）を強調する
- ④ レイアウトの大幅な見直し
 - ・ 色づかいを見やすいものに変更
 - ・ 5本の柱が全て関わり合っていることがわかるようにする
 - ・ 文字サイズについても、強調する・しないによって大小を使い分ける

2 次期海老名市教育大綱（案）

☆案及び現行の大綱については
別紙のとおり

3 今後のスケジュール

令和5年2月27日 案修正

3月3日 }
~4月3日 } パブリックコメントの実施

4月上旬 パブリックコメントの結果を
踏まえた最終案の作成

4月15日 **第1回総合教育会議**
・新教育大綱最終案の協議

4月25日 最高経営会議 決定
⇒公表



(案)

海老名市教育大綱

目標

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

基本的な考え方

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

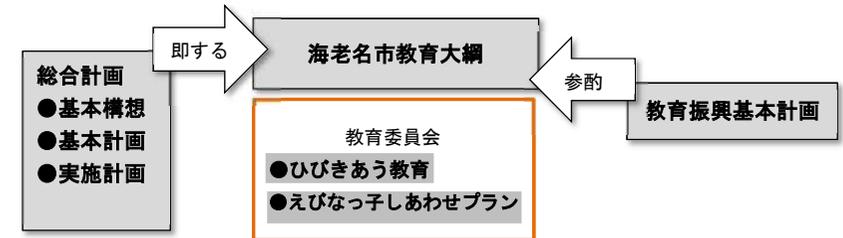
- 子どもたちひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の

しあわせをめざします

計画期間

4年間（令和5年4月から令和9年3月まで）

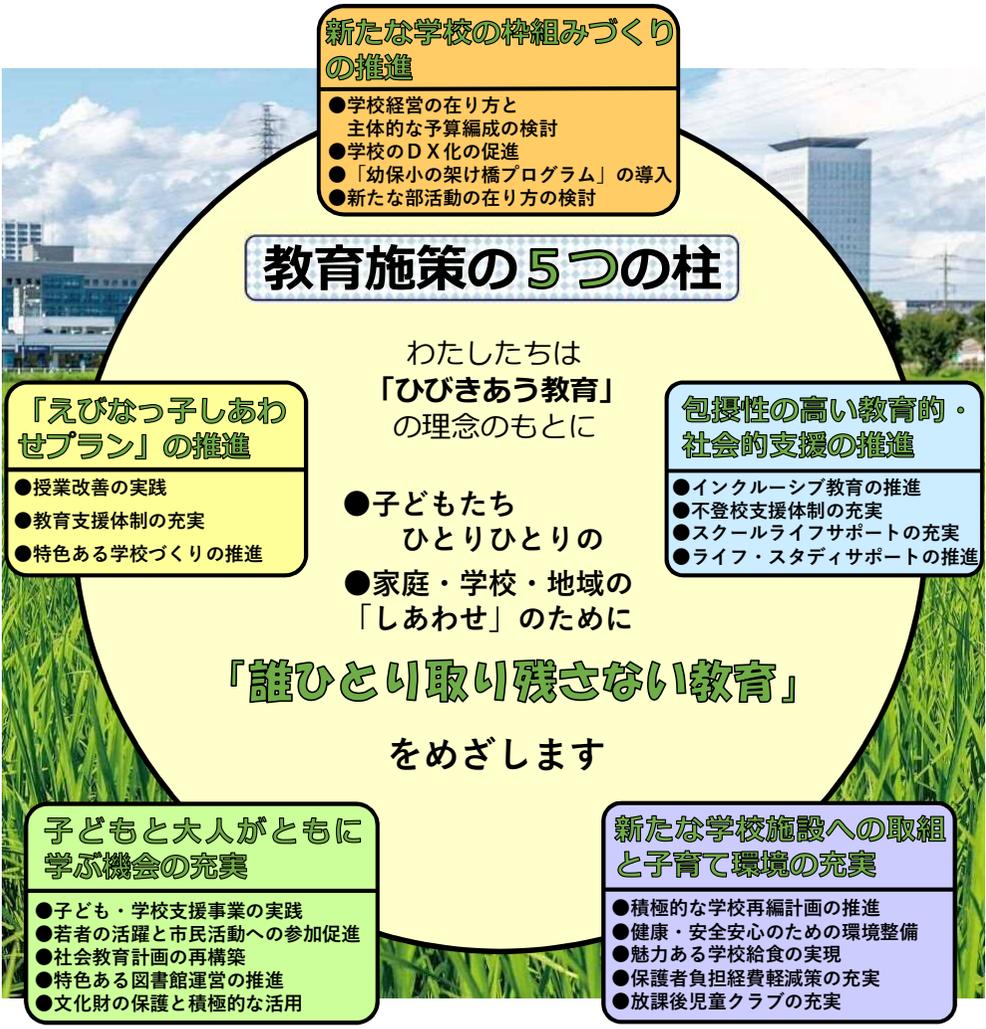
計画の位置づけ



教育施策の5つの柱

- 1 新たな学校の枠組みづくりの推進
- 2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進
- 3 「えびなっ子しあわせプラン」の推進
- 4 子どもと大人がともに学ぶ機会の充実
- 5 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名



新たな学校の枠組みづくりの推進

- 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討
- 学校のDX化の促進
- 「幼保小の架け橋プログラム」の導入
- 新たな部活動の在り方の検討

教育施策の5つの柱

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

- インクルーシブ教育の推進
- 不登校支援体制の充実
- スクールライフサポートの充実
- ライフ・スタディサポートの推進

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- 授業改善の実践
- 教育支援体制の充実
- 特色ある学校づくりの推進

- 子どもたちひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の「しあわせ」のために

「誰ひとり取り残さない教育」

をめざします

子どもと大人がともに学ぶ機会の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 若者の活躍と市民活動への参加促進
- 社会教育計画の再構築
- 特色ある図書館運営の推進
- 文化財の保護と積極的な活用

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 積極的な学校再編計画の推進
- 健康・安全安心のための環境整備
- 魅力ある学校給食の実現
- 保護者負担経費軽減策の充実
- 放課後児童クラブの充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集

家庭・学校・地域・行政の力を結集





事業概要

1 新たな学校の枠組みづくりの推進

① 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討 …【教育支援課】

学校教育目標を軸に、地域に根差した特色ある学校づくりを目指し、海老名の子どもの豊かな「学び」と「育ち」を保障するために、各校の校長の裁量権を拡大し、効果的な学校予算編成を行うとともに、持続可能な枠組みの在り方を研究します。

② 学校のDX化の促進 …【就学支援課・教育支援課】

校務のIT化をさらに進めるとともに、子ども一人ひとりに合った教育や指導を行うために、学校教育活動のあらゆる場面で1人1台端末の活用を進めます。授業ではデジタル教材やMEXCBTを使い、個人に合わせた学習や協働的な学びに活用します。また、保護者へのメールサービス「SumaMachi」を活用し、学校の様々な連絡事項や不審者情報などを即時提供します。

③ 「幼保小の架け橋プログラム」の推進 …【教育支援課】

小学校、幼稚園、保育園等が連携し、架け橋期（5歳児から小学校1年生の2年間）の一人一人の多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指し、スタートカリキュラムを全小学校で研究・推進していきます。

④ 新たな部活動の在り方の検討 …【教育支援課】

持続可能な部活動のあり方と生徒の部活動の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、各団体・保護者・民間事業者等の協力のもと、学校と地域が協働・融合した形で地域における部活動環境整備を進めます。

2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

① インクルーシブ教育の推進 …【教育支援課】

個別的教育支援計画の作成等を通じた教育的ニーズの適切な把握をもとに、すべての子どもたちひとりひとりの多様性に対応した、学びやすい環境、わかりやすい授業、安全で安心できる居場所を目指します。

② 不登校支援体制の充実 …【教育支援課】

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用推進や、校内別室支援体制の充実等による不登校の未然防止を図ります。また、不登校の子どもたちが安心して過ごすことができる多様な学びの場の拡充を官民協働で進めています。

③ スクールライフサポートの充実 …【就学支援課】

経済的な理由で就学困難な家庭に対し、学用品費や給食費、校外活動費、修学旅行費など、学校生活に必要な費用の一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

④ ライフ・スタディサポートの推進 …【学び支援課】

生活困窮世帯に属する中学生に対し、学習支援や生活支援、進学に関する支援を実施することで、子どもの高等学校等への進学や社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止します。

3 「えびなっ子しあわせプラン」の推進

① 授業改善の実践 …【教育支援課】

「主体的・対話的で深い学び」を追求するために、市内教員がその視点からの学習過程を見直し、小中接続の観点からも、ともに授業を工夫・改善していく取組を推進します。また、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、1人1台端末の各教科等の指導における効果的な活用方法等について研究します。

② 教育支援体制の充実 …【教育支援課】

すべての子どもを対象とした教育支援体制の構築についての研究・協議を進めてまいります。また、個別的教育支援計画シートの有効活用、不登校の子どもたちへの多様な学習支援、いじめ問題への具体的な対応策の拡充等について研究してまいります。



③ 特色ある学校づくりの推進 …【教育支援課】

「特色ある教育活動」実践に向けたカリキュラムマネジメントを展開できるようにするため、「教育課程編成」「地域との連携協働」等について研究し、具体的な取組につなげてまいります。

4 子どもと大人がともに学ぶ機会の充実

① 子ども・学校支援事業の実践 …【学び支援課】

えびなっ子スクールやあそびっ子クラブ等の実施を通して、学校と地域の連携を図り、地域ぐるみで子どもたちのしあわせを育みます。また、学校応援団が地域の力を引き出すことで、子どもたちと地域が共に成長できる社会を目指します。

② 若者の活躍と市民活動への参加促進 …【学び支援課】

次世代の担い手である中・高校生や大学生を中心に自分たちがやりたいこと、住みたいまちの実現に向けた探究活動の場の提供や、地域及び学校の事業に次世代のメンターとして関わりを持つことで、若者の活躍と市民活動への参加促進を目指します。

③ 社会教育計画の再構築 …【学び支援課】

社会教育関係団体の連携や地域での社会教育活動の充実、学習会場の充実を図ることにより、地域の大人が子どもたちへの関わりを通してより強いつながりをもち、子どもと大人がともに育つ社会の構築を目指します。

④ 特色ある図書館運営の推進 …【学び支援課】

中央図書館は「新しい学びが見つかる空間」として、有馬図書館及び門沢橋コミュニティセンターは「学びとコミュニティの空間」として、それぞれの立地条件や地域の特性を生かした運営を行うことで、様々な人々が集う知の拠点を目指します。

⑤ 文化財の保護と積極的な活用 …【教育総務課】

市内に存する文化財のうち重要なものについて、市指定重要文化財や市登録文化財として保存を進め、次世代に引き継ぎます。また、国史跡相模国分寺跡・尼寺跡の公有地化を行い、保存活用を進めます。歴史資料等のデジタル化や「相模国分寺跡あそびのひろば」の開催など、積極的に文化財を活用し、市内外に海老名の歴史文化財を伝えます。

5 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

① 積極的な学校再編計画の推進 …【教育総務課】

「持続可能」で子どもたちにとって「夢」のある学校の実現に向けた施設整備を進めるため、児童生徒の人口推計を的確にとらえながら、新築、統合及び一貫化を含めた積極的な学校再編の方向性を、海老名市学校施設再整備計画の見直しにあわせて、再整備計画に反映します。

② 健康・安全安心のための環境整備 …【教育総務課・就学支援課】

老朽化した樹木の伐採及び剪定、校舎及び屋内運動場のLED化、庁内他課との連携による健康管理データの活用、青色パトロール車による巡回パトロール等を通して、子どもがいきいきと学べる学習環境・のびのびと生活できる生活環境を整備します。

③ 魅力ある学校給食の実現 …【就学支援課】

学校給食献立コンテストの優秀作品の献立化等、子どもたちが食べたいと思う、魅力的かつ安全安心な給食の提供に努め、海老名の子どもたち一人ひとりの「おいしい笑顔」の実現を目指します。

④ 保護者負担経費軽減に対する取組みの充実 …【就学支援課・教育支援課】

使用頻度の低い彫刻刀や柔道着の購入費や小学校1年生及び中学校1年生の教材費の公費負担、中学校ジャージのコンペティション等を行うなど、「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」に基づく、保護者負担経費の更なる適正化を図ります。

⑤ 放課後児童クラブの充実 …【学び支援課】

学童保育クラブの「質」及び「定員」の充実を図ることで、子どもたちに安全に放課後を過ごすことができる場を提供し、保護者が安心して子どもをあずけることができる環境を整備します。



「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

●子どもたちの
●家庭・学校・地域の
しあわせをめざします

子どもたちの今と将来の
しあわせのための教育

子どもと大人が
ともに成長する社会

家庭・学校・地域のため
のよりよい環境づくり

教育施策の3つの柱

に取り組みます

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- 授業改善の実践
- 教育支援体制の充実
- 特色ある学校づくりの推進
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- 健康・安全安心のための環境整備
- 学校給食のあり方の検討
- 義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 子どもと大人がともに学ぶ社会教育計画の再構築
- 生涯学習講座の充実
- 「ひろがる・つながる・みんなの図書館」への進化
- 相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用

家庭・学校・地域・行政の力を結集して



海老名市教育大綱

目標

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

基本的な考え方

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- 「子どもたち」の
- 「家庭・学校・地域」の しあわせをめざします

取り組み

子どもたちの今と将来のしあわせのための教育

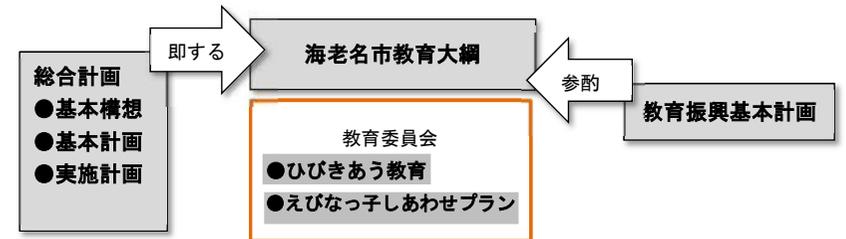
子どもと大人がともに成長する社会

家庭・学校・地域のためのよりよい環境づくり

計画期間

4年間（平成31年4月から令和5年3月まで）

計画の位置づけ



教育施策の3つの柱

- 1 「えびなっ子しあわせプラン」の推進
- 2 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実
- 3 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集して



事業概要**1 「えびなっ子しあわせプラン」の推進****① 授業改善の実践・・・【教育支援課】**

子どもたちひとりひとりの学びを保障するべく多様な学びの場と指導・支援方法の実践により、「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します。

また、今日的な教育課題である、プログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践し、学校 ICT を有効に活用します。

さらに、市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います。(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

② 教育支援体制の充実・・・【教育支援課】

「多様な支援体制と学校体制のあり方の研究」を実施し、不登校、いじめ問題への具体的な対応策を拡充します。

また、支援計画の作成や環境整備により、すべての子どもを対象とした支援教育を実践します。

さらに、人材の活用を広げつつ、教育支援のためのチーム体制を整えます。

③ 特色ある学校づくりの推進・・・【教育支援課・学び支援課】

各学校が特色ある教育活動を実践し、改善のための研究を行います。

そのため、家庭・地域と連携・協働した学校運営を進めます。

また、中学校区ごとのコミュニティ・スクールへ移行するための研究を行うとともに、地域から支援され応援される学校づくりをめざします。

④ 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革・・・【就学支援課・教育支援課】

令和5年度からの地域部活動への移行に向けて、海老名市のよりよい部活動のあり方について検討・協議します。

2 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実**① 子ども・学校支援事業の実践・・・【学び支援課】**

学校応援団や保護者、地域の協力により、えびなっ子スクールの通年実施や授業支援等、更なる子ども・学校支援の充実を図ります。

② 子どもと大人がともに学ぶ社会教育計画の再構築・・・【学び支援課】

学校応援団等、これまでの「学校を中心とした社会教育」に加え、「スポーツ」や「文化芸術」等を含む社会教育への再構築に向け、「社会教育計画の見直し」を行い、子どもを中心とした社会教育の更なる充実を図ります。

③ 生涯学習講座の充実

広く市民の学びの場、交流の場として、市民講座「まな BINA」の充実を図ります。また、市民講座「まな BINA」の分かりやすい情報提供に取り組んでまいります。

④ 「ひろがる・つながる・みんなの図書館」への進化・・・【学び支援課】

市立図書館としての一体性を維持しつつ、中央図書館は利便性の高い図書館として、有馬図書館はリニューアル工事に併せてコミュニティセンターとの複合施設として、「学び」と「コミュニティ」の拠点へと進化します。

⑤ 相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用・・・【教育総務課】

相模国分寺跡等、文化財の保存・整備・活用とともに、歴史資料のデジタル化を進め、文化財を本市の魅力の一つとして市内外に情報発信します。

3 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実**① 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備・・・【教育総務課、就学支援課】**

学校施設再整備計画に基づき、「学区再編」や施設の「増築、大規模改修、長寿命化改修」を行うとともに、施設の「ユニバーサルデザイン化」「木質化」を進める等、「持続可能」で「夢」のある学校施設整備を計画的に進めます。

② 健康・安全安心のための環境整備・・・【教育総務課、就学支援課】

子どもがいいきと学べる学習環境と子どもがのびのびと生活できる生活環境を整備します。

◆ 0歳から一貫した子育て支援を行うため、小中学校に健康管理システムを導入します。

◆ 老朽化した樹木の剪定や教室の扉等、室内ガラスへの飛散防止フィルムの設置により、安心できれいな居心地のよい学校づくりを進めます

◆ 下校時の更なる安全確保のため、巡回パトロールの強化を図ります。

③ 学校給食のあり方の検討・・・【就学支援課】

今後の小中学校の給食のあり方や施設整備のあり方について検討を進めます。

④ 義務教育に係る公費負担のあり方の検討・・・【就学支援課】

義務教育に係る保護者負担の軽減と学校徴収についての検討を進めるとともに、今後の修学旅行のあり方について検討を進めます。

⑤ 放課後児童クラブ(学童保育)の充実・・・【学び支援課】

学童保育クラブの「質」及び「定員」の充実を図ることで、子どもたちに安全に放課後を過ごすことができる場を提供し、保護者が安心して子どもをあずけることができる環境を整備します。



協議事項 2

令和5年度教育予算における 重点事業等について

誰ひとり取り残さない
教育を目指します！



令和5年度教育部の主な取り組み（見通し）

- ① 学校施設整備事業
- ② 学校給食事業
- ③ スクールライフサポート事業（就学援助）
- ④ 教材費支援の拡充
- ⑤ 教育支援体制の充実
- ⑥ ICT教育の推進
- ⑦ 外国語教育の推進
- ⑧ 架け橋プログラム（幼保小連携）
- ⑨ 交流事業（森林・防災）
- ⑩ 学童保育クラブの充実
- ⑪ ライフ・スタディサポート事業
- ⑫ ユース・ぷらっとフォーム事業

教育部当初予算規模：約52億円

① 学校施設整備事業

学校施設の維持管理に加えて整備事業を実施し、児童・生徒の学習環境の向上及び安全確保を図ります。

- LED化改修工事
- 今泉小学校空調改修工事
- 柏ヶ谷小学校校舎外装改修工事
- 有鹿小学校用地買収鑑定
- 柏ヶ谷中学校校舎外装改修工事
- 有馬中学校校舎外装改修工事設計

小・中学校事業費
約7億円



② 学校給食事業

「おいしい笑顔」のために安心して安全な学校給食の提供に努めます。

- 中学校給食一部実施（令和5年9月から）
- 中学校給食に向けた食器・備品購入
- **令和6年4月から中学校給食完全実施**（食の創造館増築）
- 調理施設の運営
- 小学校・中学校給食におけるアレルギー対応の充実
- 学校給食啓発事業の充実（献立コンテスト・シェフ監修献立）
- SDGs重点事業（フードロスの削減）に関する取り組みなど

事業費
約21億円



③ スクールライフサポート事業 (就 学 援 助)

経済的な理由でお子さんを小・中学校へ就学させるのにお困りの方に **学用品費や給食費など学校生活に必要な費用の一部援助を継続します。**



事業費
約7,800万円



④ 教材費支援の拡充

小・中学校の入学にかかる費用は大きいため、小・中学校の1年生の**教材費を公費で負担**しています。物価高騰による保護者への負担を軽減するため、教材費の**支援額を引き上げます。**

小学校1年生	一人当たり	9,000円⇒ 10,000円
中学校1年生	一人当たり	15,000円⇒ 17,000円

※私学に通われている方は、補助金として支援します。
※その他、小・中学校の彫刻刀や中学校の柔道着も公費で負担しています。



事業費
約4,400万円



⑤ 教育支援体制の充実

誰ひとり取り残さないために教育支援の充実に努めます。

不登校児童生徒等への支援

- ・ 別室登校支援員の拡充、
こころの教室相談員派遣
- ・ 教育支援教室への通室
- ・ 相談員による相談等
- ・ 不登校または不登校傾向の児童
生徒への学習機会の保障
- ・ オンライン学習教材の導入

事業費
約5,300万円



特別支援教育充実

- ・ 特別支援教育充実事業
- ・ 特別支援教育就学奨励費
(小・中学校)
- ・ 肢体不自由学級通学支援事
業 (小・中学校)

事業費
約1億5,000万円



⑥ ICT教育の推進

「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策としてのGIGAスクール事業

各学校において教育の情報化を推進し、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用したりするために必要な環境を整え、これらを適切に活用する情報活用能力の育成と学習活動の充実を図ります。



1人1台端末(中学校)
Chromebook

- ・ 情報教育支援員の配置
… 1校当たり30日間
- ・ デジタル教科書の導入
- ・ プログラミング教育の推進
- ・ 家庭への端末持ち帰り
… 長期休業中の活用

1人1台端末(小学校)
iPad



事業費
約2億8,000万円



⑦外国語教育の推進

充実した英語教育の体制づくりにより、児童生徒の、多様性と他者を尊重する豊かな人格形成と、自己実現を後押しします。

A L T 配置を継続
配置人数 13人（小学校10人、中学校3人）

目指す児童生徒の姿

外国につながる
のある児童生徒
も含め、互いを
尊重しあい、多
様な文化を受け
入れ、「共に生
きる」姿



コミュニケー
ション力を駆使
して、今後の国
際社会でグロー
バルに活躍する
姿



高校入試、大学入
試に対応したコ
ミュニケーション
力を身に付けた姿



Englishday

事業費
約7,300万円



⑧架け橋プログラム（幼保小連携）

子どもが生き生き学ぶ学校へ
～架け橋プログラム～



幼稚園・保育所等
5歳児クラス

小学校 1年生

幼児教育の先生と、小学
校の先生が、「共に理解
し、共に育てる意識」
「育てたい子ども像」を
共有



⑨ 交流事業（森林・防災）

災害協定締結都市での活動を通して、森林環境への意識、災害時に自らの命を守る力を強化します。

新規事業

- 森林環境啓発事業**
 長野県須坂市での体験活動を通じて、水資源や森林の保全について考える。
 対象：市内小学1・2年生とその保護者20組程度
- 防災啓発事業**
 新潟県新発田市での防災キャンプ事業に参加し「えびなっ子」が災害時に自らの命を守る力を強化する。
 対象：市内小学4年生6名（リーダーとして市内各校へ経験を伝達）



事業費
約1,800万円



⑩ 学童保育クラブの充実

学童保育クラブの利用者は、
過去最高の約**2,000名**



近隣市と比較しても、
海老名市は利用率が圧倒的に
高くなっています！

学童保育クラブの安定的な運営のため、
様々な**補助金を交付**

海老名市学童保育連絡
協議会と連携し、
支援員の研修を充実



スクールライフサポート
認定者へ**保育料を補助**
(月額12,000円を上限)

支援員の質の向上
を目的としています！

事業費
約5億9,000万円



⑪ ライフ・スタディサポート事業

家庭環境等や経済的な事情により、学習塾等に通うことが困難な中学生に対し、学習サポート等を実施することで、進学への支援や安心して生徒が過ごせる居場所づくりに取り組めます。

令和5年度から
南部地区（有馬中学校区）で支援開始

※令和元年度から中部地区（海老名中学校区・大谷中学校区）で実施中
※令和4年度から北部地区（柏ヶ谷中学校区・今泉中学校区）で実施中



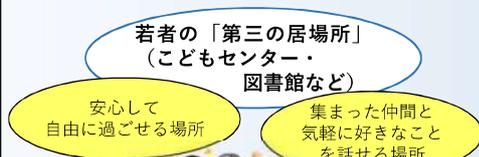
事業費
約1,900万円



⑫ ユース・ぷらっとフォーム事業

次世代の担い手である中・高校生や大学生を中心に自分たちがやりたいこと、住みたいまちの実現に向けた探究活動の場を提供するほか、地域や学校に関わることで、自身が更に次の世代のメンターとなるための活動を支援します。

(1) サードプレイス（第三の居場所）事業

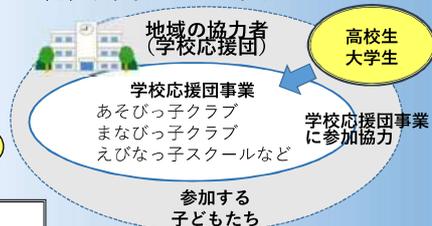


集まった仲間と気軽に好きなことを話せる場所



自分たちで挑戦してみたい！
もっと知りたい！など、やる気に火を灯すことができるような支援を実施

(2) 次世代メンター事業



事業費
約4万円



教育委員会の保護者負担軽減一覧①

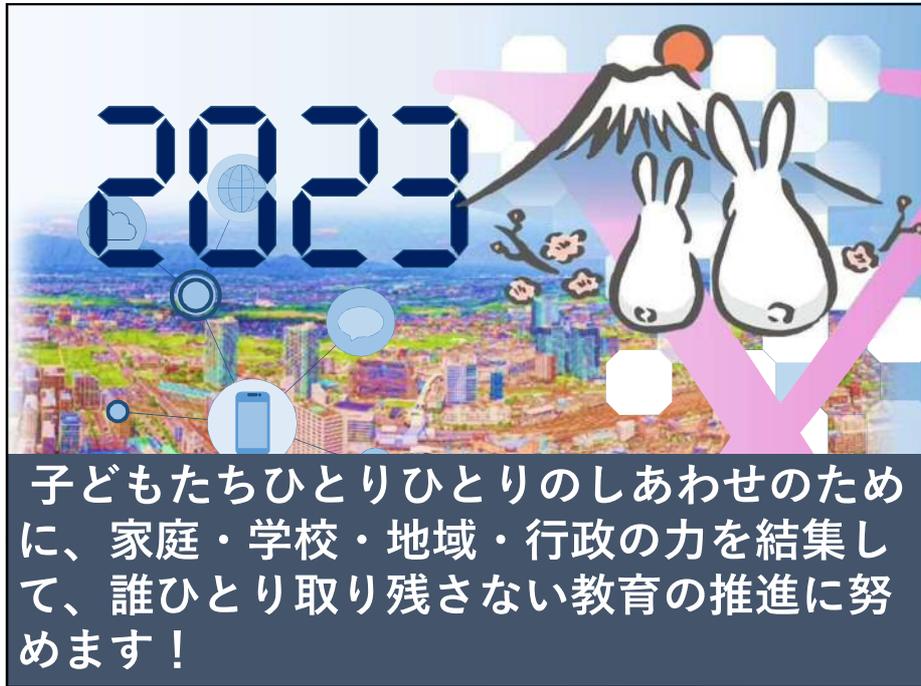
事業名	事業費（千円）
児童用ヘルメット（タタメット）配備	16,590
教材費補助金	33,513
スクールライフサポート	74,519
彫刻刀購入	825
柔道着クリーニング	428
災害共済給付金	6,000
中学3年生インフルエンザ予防接種補助	3,775
中学校給食食材費	1,211
野外教育活動補助金	15,687
修学旅行補助金	29,505

教育委員会の保護者負担軽減一覧②

事業名	事業費（千円）
キャッシュレス化促進補助金	3,250
部活動充実支援交付金	7,290
部活動大会派遣補助金	1,900
部活動地域活動報償金	621
特学奨励費	5,845
肢体不自由級通学支援	604
学童保育保護者支援補助金	24,388
合計	225,951

※令和5年秋ごろから医療費無償対象は18歳まで拡大予定。（現在の中学3年生の医療費無償継続）



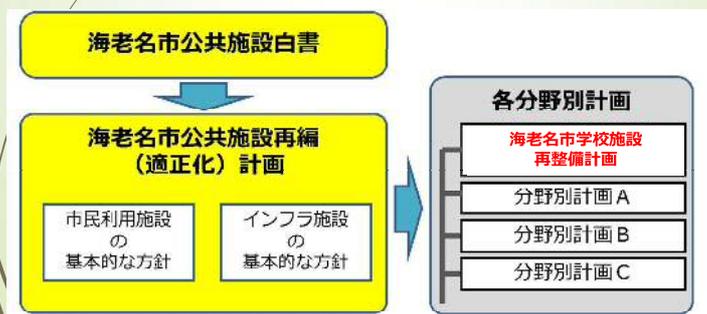


協議事項 3

学校施設再整備について

公共施設の再編に向けて

- 今後、公共施設の多くが更新時期を迎えます。
- 公共施設の現況を把握するための「公共施設白書」の下、将来の人口動態も踏まえ、公共施設の方向性を定めた「公共施設再編（適正化）計画」を定めています。
- 公共施設の50%以上を占める学校施設は、この下に別途「学校施設再整備計画」として方向性を定めています。



現行の「学校施設再整備計画」

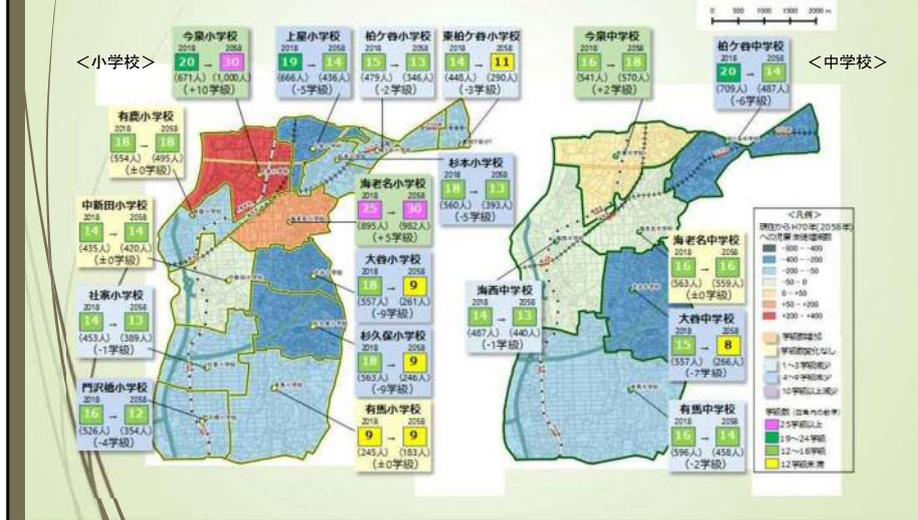
「持続可能」な「夢」のある計画

本計画は、学校施設の再整備を行うことで、本市の「持続可能」な行政運営を可能とするとともに、現在及び未来のえびなの子どもたちに「夢」を与えることができる計画としています。

- 平成31年度（2019）～令和40年（2058）年度までの40年間
- 市立学校19校（小学校13校、中学校6校）を対象とします。
対象棟数は77棟、延床面積合計約11.5万㎡です。
- 児童生徒数の推移などを踏まえ、**概ね10年ごとに見直し**を図ります。

現行の計画

- 2058年には、ピーク時の54%に減少する見込みでした。
- この見込みに向け、学校の統廃合を図る計画となっています。



学校施設再整備方針（現行）

エリア	40年後 児童生徒 増減	10年後	20年後	40年後
柏ヶ谷 エリア	↓	長寿命化改修 外部・内部改修・重点整備 (LED化、木質化、エネルギーデザイン化)	施設一体型 小中一貫校	
今泉 エリア	↑	増加対応(増築) 長寿命化改修	新校舎 外部・内部改修・重点整備 (LED化、木質化、エネルギーデザイン化)	
海西 エリア	↓		校舎新築による 機能向上	改築時に 減築・複合化
海老名 エリア	→	長寿命化改修	移転 統合	
大谷 エリア	↓	外部・内部改修・重点整備 (LED化、木質化、エネルギーデザイン化)		改築時に 減築・複合化
有馬 エリア	↓		施設一体型 小中一貫校	みんなの学校

近隣公共施設との連携

公共施設再編（適正化）計画の改定

1 計画の見直し

- 学校施設再整備計画の上位計画にあたる「公共施設再編（適正化）計画」が、策定から5年が経過し、見直しの時期になりました。
- 全施設のライフ・サイクル・コストの集計が可能となりました。



計画の改定を実施

2 市民ワークショップ

- 改定にあたっては、市民ワークショップを開催し、幅広く意見を聴取しました。

市民ワークショップでのさまざまなご意見

子どもがのびのび過ごせるスペースが欲しい！

公共施設の予算をしぼませないと、世代間の公平が保てない

空いた施設を有効に活用できるようにしたい

世代間交流ができるコミュニティが必要

小学校を地域の拠点にして、コミセンなどの機能も集約していくべき

若者が使いたいと思える施設になるとよい

学校施設再整備計画の見直し

● 「海老名市公共施設再編（適正化）計画」の見直しにあたっては、将来の市民負担を軽減するため、公共施設の総面積を削減するよう努めています。

● 海老名市の公共施設の総面積のうち、**約半分は学校**が占めています。

● また、海老名市が過去に行った人口推計よりも、**現在の人口が上回り**、人口は間もなく**14万人**に達する見込みです。

皆様のご意見や、これらの状況を踏まえ、よりよい学習環境整備のため、学校施設再整備計画も随時見直しを図ってまいります。